

【正の数・負の数の加法（小数・分数・計算法則）】（教科書 P. 27(10 行目）から P.28(11 行目）まで）

☆小数・分数の和も計算の仕方は同じ

(例) (1) $(-1.5) + (-0.8) = -(1.5+0.8) = -2.3$

(2) $\left(-\frac{1}{2}\right) + \left(+\frac{1}{3}\right) = \left(-\frac{3}{6}\right) + \left(+\frac{2}{6}\right) = -\left(\frac{3}{6}-\frac{2}{6}\right) = -\frac{1}{6}$

通分すれば絶対値の大小が判断できるよ！

$$\frac{1}{2} = \frac{1 \times 3}{2 \times 3} = \frac{3}{6}, \quad \frac{1}{3} = \frac{1 \times 2}{3 \times 2} = \frac{2}{6}$$

計算してから答えを約分することもあるよ！

P.27 問 4 を解く

(1) $(-0.4) + (-0.3)$

(2) $(+5.3) + (-2.3)$

(3) $\left(-\frac{3}{7}\right) + \left(+\frac{2}{7}\right)$

(4) $\left(-\frac{4}{5}\right) + \left(-\frac{1}{5}\right)$

(5) $\left(-\frac{1}{3}\right) + \left(-\frac{1}{4}\right)$

(6) $\left(+\frac{1}{6}\right) + \left(-\frac{3}{10}\right)$

加法の計算法則 負の数を含む計算でも次の法則は成り立つ。

○加法の交換法則…数を入れかえてたしても結果は同じである。 $a + b = b + a$

○加法の結合法則…たす順番を変えても結果は同じである。 $(a + b) + c = a + (b + c)$

P.28 問 5 を解く

≪ { } : 中かっこ () : 小かっこ ≫

$$\{(+3) + (-4)\} + (-5)$$

$$(+3) + \{(-4) + (-5)\}$$

ワーク ⑧P. 7 **3** にも取り組もう